

男女共同参画社会
づくり表彰受賞者
6組が**決定**！

男性も女性もみーんな いきいきナイス！ な関係に

「男性だから」、「女性だから」と、家庭や社会で役割が決めつけられたり、やりたくてもできないことがあつたりしたなら、それはとても残念なことではないでしょうか。

男性も女性も、違いはありますが、同じ社会の一員で、お互いを理解し、助け合わなくてはならない存在です。

男女が共に、その能力や可能性を遺憾なく発揮し、活躍できる社会を目指して、行政や企業、そしてみなさん一人ひとりが家庭や地域で行う取り組みが「男女共同参画社会づくり」です。今年から、その取り組みを実践する「いきいきナイス」な個人や夫婦、家族を模範として表彰することにしました。

みなさんも、ぜひ、「いきいきナイス」な生活、実践してみてください。



01 いきいき ナイス・パーソン

男性もいきいき介護！



たかはし さぶろう
高橋 三郎 さん（飯坂）

「好きで結婚したんだっけなあ…」（三郎さん）

受賞のポイント

- 三郎さんは、認知症で介護が必要な妻・絹子さんと暮らしています。
- 絹子さんは、週5日はデイサービスに通っていますが、残りの2日は三郎さんが付きっきりで面倒を見ています。
- 介護は大変ですが、離れて暮らす子どもたちや、地域、シルバー人材センターの仲間の助けもあり、現在も植木職人、農家として「いきいき」と働いています。
- 三郎さんは、今でも絹子さんに「こんな農家に嫁に来てくれて、

よく働いてくれたな」「好きで結婚したんだっけなあ…」と思い出し、感謝の言葉を口にしています。

- 三郎さんはしきりに絹子さんの頭をなで、絹子さんは甘えるように寄り添っていました。



男性も家事、子育て！ 女性も仕事！

いきいき ナイス・パートナー 02

「自慢の妻、尊敬しています」（崇さん）

「助かっています」（弘子さん）

受賞のポイント

- 斎藤さん夫婦は共働きで、2人の子どもがいます。料理は弘子さんが作りますが、食卓の準備と後片付けは崇さんが担当して、洗濯、買い物はお互いに分担しています。
- 崇さんは、福島市の勤務先で、夜遅くまで勤務することが多いですが、弘子さんが欠かさず作ってくれるつまみで晩酌をすることを毎日の楽しみにしています。

- 弘子さんは、子どもが小さいため、仕事を休まなければならないこともありますが、職場の助けもあり、やりがいと責任を持ちながら仕事に励んでいます。
- 2人とも忙しいからこそ、半年に1回ほどの外食の機会と、年に1度の家族旅行の機会をとて楽しみにしています。
- お互いのことを、崇さんは「自慢の妻。尊敬しています」、弘子さんは「（照れながら）助かっています」と話しています。



さいとう たかし ひろこ
斎藤 崇 さん、弘子 さん（福沢）

お父さん、お母さん、いつも仲良しでいてくれて、ありがとう！



◀ 斎藤夫妻のお子さん、るなちゃんとこうきくんも元気いっぱいです！